

お茶の間の議会情報誌

# 議会通信 しんしのつ

Shinshinotsu Village Assembly Information

第127号

2022年(令和4年)  
5月1日発行



「おはよう〜!」、「がんばって!気をつけて!」、「赤とまればだよ。」  
「ほら青だよ。」「ありがとう!」、「いってらっしゃい!」、この場面で、  
青い空に響く初めての声!

新1年生がやって来た。

横断歩道を渡りながら、君は何度も振り返っていたけれど、前を  
向いて歩き出した君が、「心配しなくていいよ!お母さん!」と言った  
ように思えた。

今日から楽しい学校生活の始まりなのに、誰もが少しの心配を抱く  
けれど、全村民、全力でみんなを守っていく。

第1  
回定例会

令和4年度予算を可決  
予算審査特別委員会で審査  
3人の議員から一般質問

<当別町>

デジタル田園都市研修

# 令和4年

# 第1回 定例会

令和4年第1回村議会定例会が、3月9日から18日までの10日間の会期をもって招集されました。

初日は、村政及び教育行政執行方針のあと、補正予算や条例の改正など10件を審議した結果、全て原案のとおり可決し、1件の専決処分を承認しました。

最終日には、議員発議1件、追加の補正予算2件と予算審査特別委員会で審議した新年度予算5会計を原案のとおり可決しました。  
また、3人の議員から一般質問を行いました。

## 定例会の 主な内容

## 補正予算

### 〔令和3年度補正予算〕

- ◎一般会計(第13・14号) 歳出補正の主な内容
- ・石狩北部地区消防事務組合負担金

△1322万円



更新された小型動力ポンプ付積載車(第1分団)

- ・公共施設営繕基金積立金

5000万円

- ・総合行政システム改修業務委託料

176万円

- ・介護保険特別会計操出金

△204万円

- ・国民健康保険特別会計操出金

△196万円

- ・後期高齢者医療特別会計操出金

△100万円

- ・障害者介護・訓練等給付費

226万円

- ・障害児施設給付費

143万円

- ・検診・検査業務委託料

△137万円

- ・公用バス運転業務委託料

△191万円

- ・村道・公共施設除排雪業務委託料

2380万円

- ・南団地建替事業建設工事、解体工事

△2919万円

- ・学校情報機器回線等利用料

△200万円

- ・第3地区会館実施設計業務委託料

△110万円

- ・村営プール管理等業務委託料

△219万円

- ・住民税非課税世帯等臨時

特別給付金給付費

△740万円

- ・子育て世帯への臨時特別給付金給付費

△120万円

- ・新型コロナウイルス感染症感染防止対策協力支援金

△3114万円

- ・産整理業務委託料

△22万円

- ・今回の補正額

△303万円

- ・今回の補正額

△350万円

- ・今回の補正額

△877万円

- ・今回の補正額

4億2769万円

- ・今回の補正額

30万円

- ・今回の補正額

6090万円

- ・今回の補正額

△200万円

- ・今回の補正額

△350万円

- ・今回の補正額

△877万円

- ・今回の補正額

4億2769万円

- ・今回の補正額

30万円

- ・今回の補正額

6090万円

# 条例改正

◎新篠津村宿泊研修施設設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

新篠津村宿泊研修施設に整備されていたスポーツ施設の一部（しのつ公園パークゴルフ場）は既に廃止状態にあり、今後の利用再開も予定していないため、本条例を改正するものです。



キャンプ場の駐車場造成のために改修されたパークゴルフ場

◎新篠津村米乾燥調製施設設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

施設の稼働から25年が経過し、設備等の経年劣化に

よる修理費と減価償却費の増加など、米の生産量の減少による利用料収入の減少等が見込まれることから、現在の利用料金では、施設の管理が困難となるため、本条例中、利用料金上限60kg当たり600円を700円に改正するものです。

## 一般議案

◎新篠津村第4辺地総合整備計画の一部変更について  
第4辺地総合整備計画に、除雪機械整備事業を追加するため変更するものです。

◎新篠津村第5辺地総合整備計画の一部変更について  
第5辺地総合整備計画に、除雪機械整備事業を追加するため変更するものです。

◎指定管理者の指定期間の変更について

「ニューしのつゴルフ場」と「たつぷの湯」及び「道の駅しんしのつ」の指定管理について、数年後に予定す

る施設の改修に向け取り組むため指定期間を、「平成29年4月1日から令和5年3月31日まで」を「平成29年4月1日から令和8年3月31日まで」に変更するものです。

## 専決処分

◎令和3年度一般会計補正予算(第12号)

- ・歳出補正の主な内容
- ・ふるさと納税業務委託料 960万円
- ・臨時特別給付金システム導入業務委託料 110万円
- ・臨時特別給付金 5890万円

〈今回の補正額〉

7363万円

〈補正後の予算総額〉

37億1384万円

## 発議

◎ロシアによるウクライナ侵攻に抗議する決議を採択しました。

## 第1回臨時会 (4月18日)

## 条例改正

◎新篠津村議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

◎特別職の職員で常勤のものとの給与に関する条例の一部を改正する条例について  
◎職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

◎新篠津村会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例について

令和3年人事院の給与改定に関する勧告に鑑み、本条例を改正するものです。

## 補正予算

◎令和4年度一般会計補正予算(第1号)

- ・歳出補正の主な内容
- ・庁舎トイレ改修工事

- ・防災倉庫設置工事 215万円
- ・空気清浄機(保育所) 572万円
- ・子育て世帯への臨時特別給付金 70万円
- ・保健センタートイレ改修工事 340万円
- ・商工業振興補助金 42万円
- ・みんなで応援商品券発行事業補助金 97万円
- ・しのつ公園トイレ改修工事 3698万円
- ・たつぷりサービス宿泊商品券発行事業補助金 49万円
- ・さわやかステーショントイレ改修工事 533万円
- ・小中学校トイレ改修工事 49万円
- ・空気清浄機(小中学校) 157万円
- ・自治センター空調設備設置工事 418万円
- ・学校給食センター空調設備設置工事 198万円
- ・学校給食センター空調設備設置工事 47万円

〈今回の補正額〉

7083万円

〈補正後の予算総額〉

41億3383万円

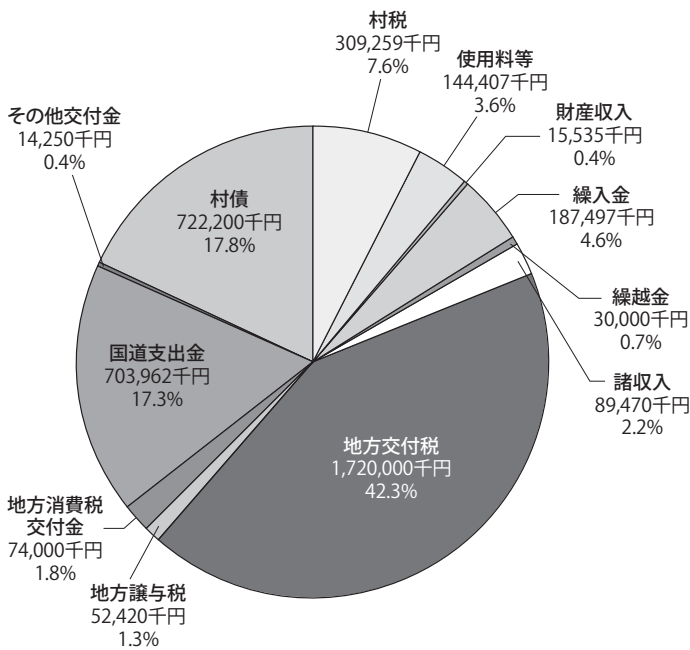
# 令和4年度 予算 心豊かな人を育てるまちづくりへ

中学校校舎・屋体LED化、第3地区会館建て替えなど学校教育・文化芸術活動の充実に向けて

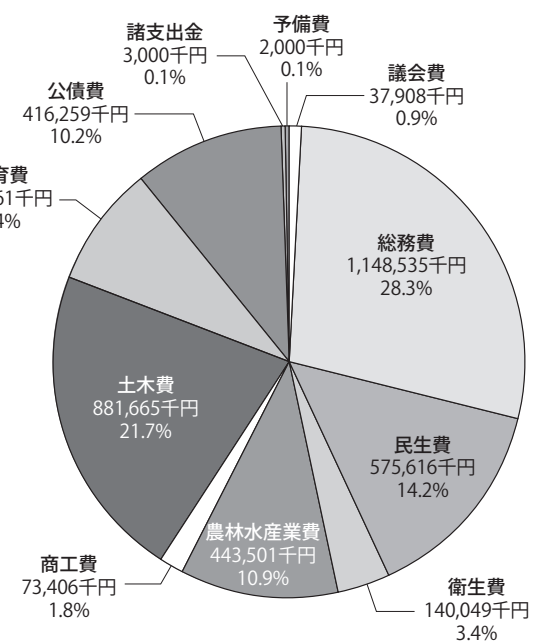
## 一般会計予算の内容

歳入歳出総額 40億6,300万円

【歳入予算構成比】



【歳出予算構成比】



毎月、新刊が入り蔵書数も豊富な昨年6月にリニューアルした自治センター図書室

令和4年度 各会計当初予算

会計名	予算額 (万円)	前年度比 (%)
一般会計	40億6,300	20.4
国民健康保険特別会計	7億3,000	0.7
農業集落排水事業特別会計	6,700	3.1
介護保険特別会計	4億2,100	7.4
後期高齢者医療特別会計	6,300	6.8
合計	53億4,400	15.8



高井 博美 委員長

令和4年第1回村議会定例会初日（11日）に付託された令和4年度新篠津村各会計歳入歳出予算案は、予算審査特別委員会（委員長 高井博美、副委員長 山元 栄）を設置し、3月11日に審査を行いました。18日に再開された本議会において審査報告を行った結果、同委員会の決定のとおり各会計予算は原案どおり可決されました。主な質疑の内容は次のとおりです。

■ 予算審査特別委員会

令和4年度予算

一般会計ほか4特別会計の予算を審議

総務費

■ 山元委員

戸籍総合システムのセキュリティ対策はどのようになっているか。

□ 鈴木住民課参事

総務省・法務局と関連しており、大変厳しいセキュリティであり、戸籍関係だけのネットワークを構築しているため、情報が流出することはない。

■ 南部委員

他市町村に比べてマイナンバーカードの取得率が低いと思うが、タブレットなどを活用して積極的に、個人宅へ出向くなど、交付申

請をしてはどうか。



普及推進員のサポートによる交付申請窓口

□ 吉田住民課長

3月1日現在、本村の交付枚数は780枚で、人口比率では27・0%となっている。また、交付申請事務として、マイナンバーカード普及推進員を1名雇用し、役場庁舎において週2回程度、

制度説明や申請に伴う窓口を設置する。コロナ禍ではあるが、個人宅へ出向くことも検討したい。

■ 林委員

災害に強いまちづくりを進めると執行方針でも述べられているが、防災に対する意識が低いと思う。しっかりとした組織づくりをするため予算を組んだ方が良いと思うが。

□ 石若総務課参事

自主防災組織連絡会において、年に数回会議を開催している。

また、S56水害で堤防が決壊したことを知っている人も少なくなってきたおり、村民にも、しっかり伝えていかなければならないので、

自主防災組織として活動を強めていきたいと考えている。



内水被害を食い止める土のうが積まれた運動公園（昭和56年8月）

■ 大塚委員

ふるさと納税に対するPRが必要ではないか。

□ 山田会計管理者

ふるさと納税は、本来の目的は寄附であり、PRや

広告を打って寄附を集めるという考えはない。

■大塚委員

「ふるさと納税」は寄附だから広告を打たないというだけでなく、新篠津村のPR・ブランド価値を上げていくということで、何らかの形で広告を打つことが価値あることだと思いが。

□石塚村長

ふるさと納税に関しては当然、ホームページにも掲載している。  
村と取引のある企業に対し、ふるさと納税のパンフレットを送付することを考えている。今後、PRや広告なども含めて検討していきたい。

## 民生費

■山元委員

福祉除雪サービス事業の展開は、大変有益な事業だと思っている。今年も雪が

多くどんな要望などあるのか、また、今後どう考えているか。

□吉田住民課長

今年は雪が多く、要望が多かった、毎年受託業者と協議をしながら、予算確保に努めている。

また、地域包括センターと連携しながら除雪を行うのが難しい高齢者をリストアップしながら対象者を決めている。

今後、少しでも村民の皆さんの要望に添えていきたい。

■藤永委員

ひまわり保育所は開所以来10名前後と記憶している。子育て世代の子供たちが増えていくような掘り起こし、PRなどの取り組みはどうか。

□吉田住民課長

小規模保育所は定数19名で、これまで10人から最大13名の利用があり、入所判定は市町村で行っている。

その内ゼロ歳児の定数は3名であり、ゼロ歳で一時的に待機となる場合もあった。希望する方が入れるように体制を整えて実施していきたいと考えている。

## 衛生費

■高橋隆光委員

ゴミの減量化の意識づけも浸透しており、いまゴミ袋の値下げをしてもゴミが多くなるとは考えられない。全世帯に向けて行うので平等性もあると思う。

移住定住対策の一つとして、村民の満足度・幸福度を上げるため、ゴミ袋の価格を1リットル2円から1円にしようか。

□石塚村長

ゴミの減量化・環境問題もあり、重要な問題だと考えている、

下げるといふ即答はできないが、他の手数料を含めて今後、検討委員会等で検

討していく。

■高橋孝志委員

特定不妊治療助成金について、一人15万円の助成金では低いと思うが。

□吉田住民課長

不妊治療については30万〜50万円かかると聞いています。そのうち北海道で30万円の助成があり、村としては最大15万円とし、不足する分を助成している。実績的には5〜6万円の助成で、本人の負担がないようにしている。

## 農林水産業費

■大塚委員

農業振興センター改修事業費補助金について、農産物を加工に要する厨房機器も導入すると聞いているが、どのような機器を購入するのか。

□金兵産業建設課長

改修するにあたり、関係

する団体に事業概要を説明し、様々なことを想定し機器を選定している。

農業振興センター改修後のコンセプトは発見の場、試作品づくりの場なので、その段階で使用する厨房機器と考えている。

■南部委員

鳥獣被害として、シカだけでなく、大豆の芽が出てきたところをウサギが食べるという被害がでていて。その対応を考えていただくことはできるか。

□金兵産業建設課長

昨年度もウサギによる被害報告が出ており、くくり罠や箱罠など何がよいのか考えている。ウサギの被害が出ていることは承知しており、今後考えなければならぬ課題と受け止めている。

## 商工費

■大塚委員

パークゴルフ場の排水にボールが落ちて無くなるといふことがある。ネットを高くしてほしいという要望があるが整備予算は。

□中井総務課参事

予算的にはないが、毎年オープン前にネットを設置しており、ボールが抜けなような設置を行っていく。

■高橋隆光委員

たつぷの湯に対する工事請負費、負担金補助及び交付金で営繕負担金として899万円が計上され、また、ここ4〜5年で合計1億数千円の出費がされている。今後、大規模改修の計画があるようだが、この大規模改修でこれまで行ってきた修繕費は無駄にはならないか。

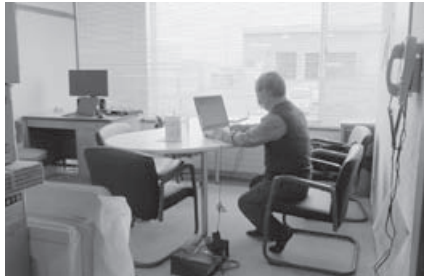
□中井総務課参事

令和8年度に大規模改修を計画しており、これまでに修繕した箇所にも手をつ

けることもあるかもしれないが、できるだけ改修箇所を確認しながら、それを含めた無駄にならないような計画により予算執行をしていきたい。

■藤永委員

シルバー人材センターの過去2年の実績は。また、人材不足ということで大変な状況だと思うが、4年度に向けては伸ばせる状況にあるか。



金曜日の午前中、役場に担当者が常駐するシルバー人材センター

□吉田住民課長

令和2年度の発注件数は39件。発注内容は、墓地の清掃。JAの麦調整。一般農家の農作業。公園の草刈

土木費

■高橋隆光委員

り、たつぷの湯の貸しポート手伝いなど142日間、令和3年度の発注件数は55件。前年比+16件、発注内容は前年とほぼ同じで227日間となっている。金曜日の午前中、役場に担当者が常駐して新規会員の募集、事業募集を行い、今後も地道な活動ではあるが、少しでも仕事を増やそうと努力していく。

第46線の通学路は、かなり雪がひどく、子供たちが危ないと感じる状況がある。そういうときに教育長が指示を出して除雪をするとか、村長から委託業者に指示を出して実施することはできないのか。

□金兵産業建設課長

村からも指示を出して、できる範囲で対応しているが、要望をいただいでから

指示を出すという後手に回っていることもあるかもしれない。

大雪による限界もあるが、第46線の通学路の歩道も含め、通学路を優先しつつ効率よく行うこととしている。今後も村民の安心と安全を確保する除雪にこそ考えていきたいと考えている。



雪山により歩道の道幅が狭く、危険を感じる通学路(第46線交差点)

教育費

■大塚委員

子供たちは、保育所から中学校まで固定された人間関係で生活しているが、ある一定の年齢に達し、不登

校になることがある。

教育長が以前言われていた、インターネットでの対話、文化的な美術展の開催や、合唱を行うなど、なかなか実現しないことをどう考えているか。

□荒谷教育長

他の地域の同じ年齢の子との交流は大変意義があると認識している。

これまでも湧別町との交流や札幌市の学校とも田植えや稲刈りなど、機会があれば交流を行っており子供たちも大変楽しみにしている。

コロナ禍でなかなか交流が進めることができないが、チャレンジしていきたい。

一般会計歳入全般

■高橋隆光委員

昨年度同様、ゴルフ場利用税交付金が減額する見込みとなっているが、これはプレー代の値上げが要因で

はないか。  
最初のコンセプトのとおり多くの幅広いゴルファーに、低料金でプレーさせるべきではないのか。

□ 中井総務課参事

ニューシのつゴルフ場設置及び管理に関する条例では、プレー料金の変更は村の承認を受けることになっているので、今後、指定管理者と協議していく。

国民健康保険  
特別会計

■ 高橋隆光委員

保険税が減額になっているが、被保険者にどのような影響があるか。また、令和4年度に税率改正を行った場合にどのような影響があるのか。

□ 鈴木住民課参事

被保険者数が減少しているため予算が減額となっているので、被保険者に対する影響はないものと考えて

いる。

税額及び税率は、前年の収入や医療費等により影響することもあり、ここ2年間は新型コロナウイルスの影響もあり、税率改正をすると被保険者への影響が大きいと考える。税率の改正をしていないが、賦課対象となる総所得金額をみて、予算総額に達するかどうかを見極め、税率改正する場合は、国保運営協議会に諮問をして決定する。

農業集落排水  
特別会計

■ 南部委員

滞納した下水道料は、下水道料金とペアになって徴収していることから、最初から下水道料金と併せて徴収することはできないか。

□ 佐藤産業建設課主幹

月形町の上下水道も同じで、それぞれ会計が別なので、今後の課題として考えていく。

笑顔あふれる

デジタル田園都市研修

議会運営委員会において、いち早く議会活動にタブレットを導入し、ペーパーレス化を図っていた十勝管内の芽室町を研修したのは2年前のこと。

情報共有や議会の効率化を高めている芽室町議会を研修したことで、今後の課題や目標が明確となった。

そのことから3月31日、当別町議会のタブレット導入は今後の課題とするなかで、後藤正洋当別町長から「笑顔あふれるデジタル田園都市構想」などについて研修させていただいた。

後藤当別町長の

ビジョンにふれる

昨年、コロナ禍のなかでの選挙戦において、人々との繋がりが乖離的となっていることを痛感したと話し出した後藤町長。

それは誰もが思っていたことで、それも今のうちに埋めておかないと町全体の

結びつきが薄れるとの危惧から「笑顔あふれるデジタル田園都市構想」を掲げた。常に5年先、10年先を見据え、デジタルの進化のスピードが速まるなかで、持続可能な町に変わっていく仕組みをつくり、具体的な計画を構築したい。

そしてデジタル都市構想を推進し、人と人との絆を取り戻し、いつでもどこからでも行政サービスを受けることができる。いろいろな条件を持った方やハンディを持った方でも、きちんと処理できるのがデジタルの力だと思う。

岸田総理が後追いで、デジタル田園都市国家構想を打ち出したので驚いているとも話されていた。

また、NTT東日本、ロイズコンフェクト、三菱商事など、町長の構想を支える企業群も数多くあり、すでに数社の企業と協働し庁舎内などのデジタル田園都市構想に向けた整備が進められていた。

当別町は現在、産業力の

強化、人を呼び込む町、未来を担う子供の育成など様々な構想を具現化されている。

今後、様々な後藤町長の構想が現実となるなかで、石狩管内唯一の町・村として協働できる何かを模索していきたいと強く感じた研修となった。



多くのビジョンを語る後藤当別町長



# 一般質問

# 村政のここが聞きたい

## ～3人の議員から5項目を問う～



### 1 南部 隆志 議員

①太陽光発電の村有地への誘致について

### 2 大塚 裕樹 議員

- ①移住定住促進補助金（家賃補助）について
- ②農業も含めた経済対策としての支援について
- ③新規のパートナー対策について

### 3 高橋 隆光 議員

①役場職員、会計年度任用職員などの心の病の対応について

令和4年第1回村議会定例会が3月9日から18日の10日間の日程で開催され、議会最終日に3人の議員が一般質問し、石塚村長に答弁を求めました。

（紙面の都合上、要約し掲載しています。）

○南部議員 質問  
 現在、石狩市など太陽光発電を非常時に活用できる「地域マイクログリッド」事業が行われており、村内でも民間事業者運営による太陽光発電が3カ所に設置されている。  
 カーボンニュートラルの

Q

太陽光発電を誘致し  
災害時に供給できないか

A

多額の経費負担が生じ  
難しい事案だと考える

# 一般質問

南部 隆志 議員

○石塚村長 答弁  
 国では、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスをゼロにする「二〇五〇カーボンニュートラル・脱炭素社会を目指す」ことを宣言しており、今後自治体として、太陽光や風力、水素燃料電池など自然現象から得られる自然エネルギーの活用も注目されている。  
 そこで、未利用の村有地に、太陽光発電事業者へ土地の賃貸などにより誘致をすることで、未利用地の有

実現に向けて、自然エネルギーの活用が重要視されているが、現在、利用されていない村有地に、地元の同意を得たうえで太陽光発電事業者に一定の条件を付け、賃貸し利用してもらうことは可能ではないか。  
 それによって賃借料、固定資産税などの税収、草刈り等の維持管理が軽減され、さらに一定の条件の中に、災害時、そこで作られた電力を公共施設などに供給する事はできるのではないか。

# 一般質問

大塚 裕樹 議員

効活用や維持管理面での経費節減、固定資産税の収収も期待はできるが、太陽光発電事業者からの災害時での主要施設の電力提供となると、村として送電設備や蓄電池等の施設整備に多額の経費負担が生じるものと推測され、事業者との協議にも高いハードルがあると考ええる。

災害時での電力供給としては、以前から進めている主要施設への発電機や発電装置の整備などによる対応を引き続き行い、災害対策に努めていきたいと考えている。

村有地の活用については、あらためて、色々な視点から検討していきたい。

## Q 家賃を無料するくらいの思い切った政策の実現を

## A 村内事業者とも連携し対応策を協議していく

Q

A

○大塚議員 質問

村が令和元年より定住促進策として始めた移住支援制度も成果が上がっているように思えない。

全く縁のない方が、新たに村に移住して頂くことは、非常に難しい。

村で働いている方々に住んで頂く事が、定住対策として一番効果があると思うし、人手不足で困っている村の福祉事業者や商工業者への支援にもなる。

他市町村では、家賃助成として自己負担の2分の1以下で月1万円程度（上限

金額）を助成しており、期間も36カ月行っている。

働く世代の人口を増やさないと子どもたちの人数も減り、地域に活力がなくなり、更に人口流失が加速する。できれば、事業所と村で家賃を無料にするくらいの思い切った政策を打たないと村に子どもたちが居なくなってしまうのではないかと危機感を持っているが、どのように考えているか。

○石塚村長 答弁

移住・定住は、まったく新たに移ってくる方、勤務先があつて通っている方、村に住んで村外の勤務先に通う方など、いろいろなパターンがあり、住む場所を決める際の基準や条件は、価値観と同じで人それぞれ違いがある。

それが子育て環境なのか、住宅環境なのか、医療・福祉環境なのか、家族の事情や家賃補助のような経済的要件なのか数多く考えられ、全てが満たされれば可能性は高くなるが、一つや

二つの要件だけでは、やはり近隣市町には引けを取り、パートナー対策も含め総合的に対応策を講じる必要があると考える。

今後、村内各事業所とも連携して何かできないか、どのようなことが可能か、具体的な対応策を協議していく。

## Q 農業経営を諦めぬよう明るい施策が必要では

## A 村単独事業として実施するのは困難である

Q

A

○大塚議員 質問

コロナ禍による需要の減少により、米価が2000円以上下落した。その後の水田活用交付金の見直しの問題、また、ロシアによるウクライナ侵攻により、先の見

えない状況で更に燃料を始め肥料や資材など今まで経験したことのないレベルでコストが高まって来ている。ECサイトを使った農産物の販売支援やスマート農業の支援、地元の温泉施設等を活用したワーケーション事業での農作業の人材不足を補う事業など国の活用事例には多くの農業支援メニューもある。

○石塚村長 答弁

これまで、経営体育成基盤整備事業や米乾燥調製施設整備事業などの大型事業や、多面的機能支払事業、環境保全型農業支援対策事業、農業次世代人材投資事業などの実施により、産地づくりと経営体の育成に取り組んできたが、個人向けの支援施策を村単独事業として実施するのは困難であ

るので、国の補助事業を活用しながら、経営発展に取り組んでいただきたい。  
 今後、本村の農業・農村が持続的に発展できるように取り組んでいく。

**Q** 行政が主体ではない  
 パートナー対策が必要では

**A** 実績があがらない現状を  
 様々な面から検証する

○大塚議員 質問  
 農業後継者のパートナー対策は、自治体や行政が主体的に行うには限界があると感じている。  
 今後は、予算も掛かるかが、本人負担も増やし、民間の事業者にお願ひしてはどうか。また、相手も札幌近郊にこだわらず、北海道の農業は、私たちが考えて

いる以上にイメージも良いのだから、人口の多い関東や関西に向いて行くなど思い切った企画が必要ではないかと思うが、どのように考えているか。



1月29日開催された観光協会主催のマッチングイベント

○石塚村長 答弁

パートナー対策は、個人の人生を豊かにするだけでなく、少子高齢化や人口対策など、村の振興と発展にも大切な役割を果たすものである。

本村のパートナー対策は、観光協会と農業振興センターで行っており、実績を上げられていない現状にあるので、これまでの取り組みを検証し、未婚農業者の

意識調査や、他自治体の取組事例などを参考にするなど、事業内容を検討するよう農業振興センターへ指示していく。

**一般質問**  
 高橋 隆光 議員

**Q** 風通しのよい職場づくりが  
 村民のためになるのでは

**A** 職員の命と健康を守り  
 住民サービスに努める

○高橋隆光議員 質問

パワーハラスメントや長時間労働など、仕事上のス

ストレスから心の病に苦しむケースが増えており、道内の自治体では、職員が自殺するといった痛ましい事例も発生している。

自治体は住民生活の基盤であり、職員は村づくりに欠かせない村長の右腕でもあるし、村の宝でもあると私は思っている。

規模の小さい町村の職員は、限られた人間関係のなかでの勤務になりやすく、風通しのよい職場づくりが村のため、しいては全村民のためになる。

パワーハラや長時間労働などは、どんな職場であろうと許されることではなく、管理職への教育や働き方改革の推進に向けた働きやすい職場づくりと、職員の命と健康を守り、安心して働ける環境を整え、職員を育てることは、村長の指導力と理解が問われるところだと思うが、どのように考えているか。

○石塚村長 答弁  
 心の病対策としては、平

成29年度より企業で働く労働者の心の健康を保つための相談等の業務を行っている会社に、職員全員対象に「ストレスチェック」を実施しており、高ストレスを発生していないかを調査し、役場全体の分析通知をもらい、高ストレス者に該当した職員には、会社より面接指導の通知が行くことになっている。

パワーハラだけではなく、職員間の考えの相違だけでもストレスを感じることがあり、今後、人事の件も含めて、人事評価をするに当たり、職員には目標を持って仕事のやりがいを見つけて頂き、目標設定にあたり、職員との面談もあるので、その部分において、職場環境も含め、十分コミュニケーションを取っていかねばと思っている。

職員の命と健康を守ることは当然の義務であるし、職員が心身ともに健康でなければ、住民サービスにも影響するので、働きやすい職場であるよう努めていく。



議会通信しんしのつ

(令和4年5月1日発行)



# 議会の動き



議会日誌	
8日	議員協議会
17日	村建設協会通常総会
28日	石狩町村議会議長会定例総会 (オンライン)
〔3月〕	
2日	新年度予算正副議長説明 議会運営委員会 議員協議会 予算勉強会 議員研修会
4日	議員研修会
〔4月〕	
9日	第1回村議会定例会(初日) 行政常任委員会 議会広報特別委員会
11日	予算審査特別委員会
18日	第1回村議会定例会
25日	石狩教育研修センター組合 議会定例会(北広島市)
31日	デジタル田園都市研修 (当別町役場)
22日	議会広報特別委員会
18日	第1回村議会臨時会

## 議会議員研修会

令和3年度新篠津村議会議員研修会を3月4日、村産業建設課・農業委員会・JA新篠津の職員にも参集いただき開催しました。研修会では、「みどりの食料システム戦略の概要」をテーマに、北海道農政事務所本村知睦 生産経営産業部長に講演していただきました。



村役場2号会議室で開催した議員研修会

## 令和4年 第2回定例会 のお知らせ 6月13日(月) ~6月17日(金) 予定



どなたでも傍聴できます。  
皆様のご来庁をお待ちしております。

### 編集後記

「神奈川にかえりたい」  
これは、2月25日開催された「第2回新篠津ランタンフェスタ」で、若い夫婦と4歳くらいの可愛らしい娘さんが舞い上げたランタンに書かれた願い事です。  
先に、お母さんと娘さんが願いたい事を書き、最後にお父さんが書いた願い事が冒頭の言葉です。  
私は、「なぜ、神奈川…」と思っ、お母さんに話を伺うと、転勤で昨年、江別市に来たそうで、今回は新篠津村のホームページを見て参加されたそうです。  
夏秋は北海道の食・観光にと満足されたそうですが、雪が降り始めた冬、江別市周辺の記録的な豪雪でついつい出た言葉だそうです。  
今年の冬は、このご家族ばかりではなく、道民が雪には苦労しました。  
除雪作業にあたった方々に感謝申し上げるとともに、改めて誰もがそんな思いをしないうように、除雪対策をしっかりとる村にならなくてはならないと思います。  
(南部 記)

発行/新篠津村議会 編集/議会広報特別委員会  
住所/北海道石狩郡新篠津村第47線北13番地  
☎(0126) 57-2111